

3. 財務の概要

(1)財務報告

1)令和7年度の決算概要

令和7年度の決算は、事業活動収支差額で約3億7858万円の支出超過となった。

財務の中身をいくつかの財務指標からとらえてみると、まず人件費比率(人件費/経常収入:低い方が良い)は64.9%で、全国平均(50.9%:令和6年度の医歯系法人を除く比率、以下同様)を上回っている。第2に経常収支差額比率[(経常収入－常支出)/経常収入:高い方が良い]は△16.3%で全国平均(2.7%)を下回っている。第3に純資産構成比率(純資産/総負債＋純資産:高い方が良い)94.5%と全国平均(88.4%)を上回っている。第4に総負債比率(総負債/総資産:低い方が良い)は5.5%で全国平均(11.6%)を下回っている。なお、固定比率(固定資産/純資産:低い方が良い)は102.5%と全国平均(97.4%)を上回り、流動比率(流動資産/流動負債:高い方が良い)は111.7%で全国平均(265.6%)を下回っている。

以上のとおり、全国平均より劣る比率もあり、財務体質の改善に今後一層努力する必要がある。

①資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日 から
令和 8年 3月31日 まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	896,100,000	889,619,988	6,480,012
手数料収入	17,410,000	16,781,325	628,675
寄付金収入	4,644,000	6,602,003	△ 1,958,003
補助金収入	790,318,000	842,566,327	△ 52,248,327
国庫補助金収入	245,344,000	288,607,600	△ 43,263,600
地方公共団体補助金収入	494,743,000	500,312,596	△ 5,569,596
施設型給付費収入	50,000,000	53,272,331	△ 3,272,331
その他の補助金収入	231,000	373,800	△ 142,800
資産売却収入	0	200,000	△ 200,000
付随事業・収益事業収入	62,165,000	104,608,004	△ 42,443,004
受取利息・配当金収入	29,152,000	29,076,724	75,276
雑収入	24,256,000	40,424,149	△ 16,168,149
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	124,763,000	92,507,226	32,255,774
その他の収入	295,793,000	99,991,989	195,801,011
資金収入調整勘定	△ 154,484,000	△ 170,782,049	16,298,049
前年度繰越支払資金	383,909,602	383,909,602	
収入の部合計	2,474,026,602	2,335,505,288	138,521,314
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,277,758,000	1,264,802,515	12,955,485
教育研究経費支出	576,290,000	535,567,691	40,722,309
管理経費支出	130,585,000	121,186,541	9,398,459
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	3,552,000	3,699,300	△ 147,300
設備関係支出	31,632,000	30,474,959	1,157,041
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	104,480,000	128,162,557	△ 23,682,557
〔予備費〕	(0)		
	11,031,000		11,031,000
資金支出調整勘定	△ 54,512,000	△ 86,424,600	31,912,600
翌年度繰越支払資金	393,210,602	338,036,325	55,174,277
支出の部合計	2,474,026,602	2,355,505,288	138,521,314

資産(特定資産)の取崩収入の減

②活動区分資金収支計算書

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

令和7年4月1日 から
令和8年3月31日 まで

(単位 円)

	科 目		金 額
教育活動による資金収支	収 入	学生生徒等納付金収入	889,619,988
		手数料収入	16,781,325
		特別寄附金収入	3,158,003
		一般寄付金収入	44,000
		経常費等補助金収入	842,566,327
		付随事業収入	49,608,004
		雑収入	39,565,990
		教育活動資金収入計	1,841,343,637
	支 出	人件費支出	1,264,802,515
		教育研究経費支出	535,567,691
		管理経費支出	121,175,251
		教育活動資金支出計	1,921,545,457
	差引		△ 80,201,820
	調整勘定等		2,116,663
	教育活動資金収支差額		△ 78,085,157
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収 入	施設設備寄附金収入	3,400,000
		施設設備売却収入	200,000
		減価償却引当特定資産取崩収入	188,604
		施設整備等活動資金収入計	3,788,604
	支 出	施設関係支出	3,699,300
		設備関係支出	30,474,959
		施設整備等活動資金支出計	34,174,259
	差引		△ 30,385,655
	調整勘定等		0
	施設整備等活動資金収支差額		△ 30,385,655
	小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		△ 108,470,812
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収 入	貸付金回収収入	7,468,295
		小計	7,468,295
		受取利息・配当金収入	29,076,724
		収益事業収入	55,000,000
		過年度修正収入	858,159
		その他の活動資金収入計	92,403,178
	支 出	長期貸付金支払支出	4,500,000
		預り金支払支出	25,034,590
		小計	29,534,590
		過年度修正支出	11,290
		その他の活動資金支出計	29,545,880
	差引		62,857,298
	調整勘定等		△ 259,763
	その他の活動資金収支差額		62,597,535
	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△ 45,873,277
	前年度繰越支払資金		383,909,602
	翌年度繰越支払資金		338,036,325

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位：円)

項 目	資金収支計算書 計上額	教育活動による 資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受金収入	92,507,226	92,507,226	0	0
前期末未収入金収入	92,335,090	69,671,117	0	22,663,973
期末未収入金	△ 50,054,973	△ 27,077,855	0	△ 22,977,118
前期末前受金	△ 120,727,076	△ 120,727,076	0	0
収入計	14,060,267	14,373,412	0	△ 313,145
前払金支払支出	2,161,934	2,161,934	0	0
長期前払金支出	245,787	245,787	0	0
前期末未払金支払支出	96,220,246	96,220,246	0	0
期末未払金	△ 77,694,487	△ 77,641,105	0	△ 53,382
前期末前払金	△ 5,875,213	△ 5,875,213	0	0
支出計	15,058,267	15,111,649	0	△ 53,382
収入計-支出計	△ 998,000	△ 738,237	0	△ 259,763

③事業活動収支計算書

事業活動収支計算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

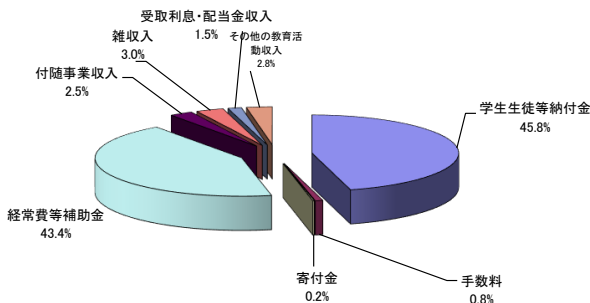
(単位：円)

	事業活動収支の部	科目	予算	決算	差異
教育活動収入	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	896,100,000	889,619,988	6,480,012
		手数料	17,410,000	16,781,325	628,675
		寄付金	4,644,000	3,202,003	1,441,997
		経常費等補助金	790,318,000	842,566,327	△ 52,248,327
		国庫補助金	245,344,000	288,607,600	△ 43,263,600
		地方公共団体補助金	494,743,000	500,312,596	△ 5,569,596
		施設型給付費	50,000,000	53,272,331	△ 3,272,331
		その他の補助金	231,000	373,800	△ 142,800
		付随事業収入	48,375,000	49,608,004	△ 1,233,004
		雑収入	23,969,000	59,696,262	△ 35,727,262
		教育活動収入計	1,780,816,000	1,861,473,909	△ 80,657,909
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,338,723,000	1,263,457,126	75,265,874
		教育研究経費	826,893,000	788,362,333	38,530,667
		管理経費	218,338,000	209,442,994	8,895,006
		徴収不能額等	0	1,619,000	△ 1,619,000
		教育活動支出計	2,383,954,000	2,262,881,453	121,072,547
		教育活動収支差額	△ 603,138,000	△ 401,407,544	△ 201,730,456
教育活動外収入	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	29,152,000	29,076,724	75,276
		その他の教育活動外収入	13,790,000	55,000,000	△ 41,210,000
		教育活動外収入計	42,942,000	84,076,724	△ 41,134,724
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	42,942,000	84,076,724	△ 41,134,724
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	199,999	△ 199,999
		その他の特別収入	287,000	4,258,159	△ 3,971,159
		特別収入計	287,000	4,458,158	△ 4,171,158
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	0	3,814,215	△ 3,814,215
		その他の特別支出	11,000	61,899,031	△ 61,888,031
		特別支出計	11,000	65,713,246	△ 65,702,246
		特別収支差額	276,000	△ 61,255,088	61,531,088
基本金組入前当年度収支差額	[予備費]		(0)		
			11,031,000		11,031,000
	基本金組入前当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額	△ 570,951,000	△ 378,585,908	△ 192,365,092
		基本金組入額合計	△ 18,650,000	△ 5,371,644	△ 13,278,356
		当年度収支差額	△ 589,601,000	△ 383,957,552	△ 205,643,448
		前年度繰越収支差額	△ 3,373,062,521	△ 4,030,344,596	657,282,075
		翌年度繰越収支差額	△ 3,962,663,521	△ 4,414,302,148	451,638,627
		(参考)			
		事業活動収入計	1,824,045,000	1,950,008,791	△ 125,963,791
		事業活動支出計	2,394,996,000	2,328,594,699	66,401,301

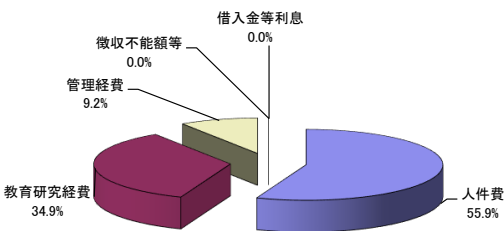
経常収支差額は予算より
242百万上回り△317百万円

基本金組入前当年度収支差
額は予算より192百万円上回り
△378百万円となった。

<経常収入の構成>



<経常支出の構成>



④貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	13,024,900,806	13,342,806,565	△ 317,905,759
有形固定資産	8,513,001,408	8,821,305,703	△ 308,304,295
土地	2,124,104,087	2,124,104,087	0
建物	5,138,823,595	5,425,735,150	△ 286,911,555
その他の有形固定資産	1,250,073,726	1,271,466,466	△ 21,392,740
特定資産	3,513,136,482	3,513,325,086	△ 188,604
その他の固定資産	998,762,916	1,008,175,776	△ 9,412,860
流動資産	409,612,286	500,608,395	△ 90,996,109
現金預金	338,036,325	383,909,602	△ 45,873,277
その他の流動資産	71,575,961	116,698,793	△ 45,122,832
資産の部合計	13,434,513,092	13,843,414,960	△ 408,901,868
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	365,643,021	384,630,682	△ 18,987,661
退職給与引当金	365,643,021	384,630,682	△ 18,987,661
流動負債	366,840,641	378,168,940	△ 11,328,299
負債の部合計	732,483,662	762,799,622	△ 30,315,960
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	17,116,331,578	17,110,959,934	5,371,644
第1号基本金	16,740,504,013	16,735,132,369	5,371,644
第3号基本金	213,827,565	213,827,565	0
第4号基本金	162,000,000	162,000,000	0
繰越収支差額	△ 4,414,302,148	△ 4,030,344,596	△ 383,957,552
純資産の部合計	12,702,029,430	13,080,615,338	△ 378,585,908
負債及び純資産の部合計	13,434,513,092	13,843,414,960	△ 408,901,868

有形固定資産は308百万円減少し、その他の固定資産は21百万円減少したことにより、固定資産全体では、前年度に比較して317百万円減少した。

流動資産は、前年度に比較して90百万円減少した。

固定負債は、前年度に比較して18百万円減少した。

流動負債のうち主に前受金の減少により、前年度に比較して11百万円減少した。

令和7年度の純資産は12702百万円となり、前年度と比較して378万円減少した。また、資産総額に占める純資産の割合は94.5%となり、前年度と変動はなかった。

固定資産明細表

令和7年 4月 1日 から
令和8年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却額の累計額	差引期末残高	摘 要
有形 固定 資産	土地	2,124,104,087			2,124,104,087		2,124,104,087	
	建物	12,259,330,695	3,699,300		12,263,029,995	7,124,206,400	5,138,823,595	
	構築物	859,518,774		4,726,300	854,792,474	805,061,106	49,731,368	
	教育研究用機器備品	293,175,343	12,925,652	18,318,103	287,782,892	186,064,274	101,718,618	
	管理用機器備品	109,416,686	12,253,057		121,669,743	66,011,228	55,658,515	
	図書	1,037,435,132	5,296,250	1,416,165	1,041,315,217		1,041,315,217	
	車両	41,891,940		1,944,000	39,947,940	39,947,932	8	
	建設仮勘定	1,650,000			1,650,000		1,650,000	
特定 資産	計	16,726,522,657	34,174,259	26,404,568	16,734,292,348	8,221,290,940	8,513,001,408	
	第3号基本金引当特定資産	213,827,565			213,827,565		213,827,565	
	減価償却引当特定資産	2,897,763,833		188,604	2,897,575,229		2,897,575,229	
	経営安定引当特定資産	76,125,125			76,125,125		76,125,125	
	退職給与引当特定資産	325,608,563			325,608,563		325,608,563	
その 他の 固定 資産	計	3,513,325,086	0	188,604	3,513,136,482		3,513,136,482	
	借地権	3,700,000			3,700,000		3,700,000	
	電話加入権	4,909,712		2,398,047	2,511,665		2,511,665	
	出資金	1,672,500			1,672,500		1,672,500	
	収益事業元入金	979,433,972		1,802,741	977,631,231		977,631,231	
	長期貸付金	12,699,000	4,500,000	6,610,000	10,589,000	徴収不能引当金 (855,500)	9,733,500	
	長期前払金	3,963,636	402,283	2,954,355	1,411,564		1,411,564	
	差入保証金	2,102,456			2,102,456		2,102,456	
	計	1,008,481,276	4,902,283	13,765,143	999,618,416	(855,500) 0	998,762,916	
	合 計	21,248,329,019	39,076,542	40,358,315	21,247,047,246	(855,500) 8,221,290,940	13,024,900,806	

借 入 金 明 細 書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位 円)

借入先			期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	利率	返済期限	摘要
長期借入金	公的金融機関								
	小	計	0	0	0	0			
	小	計	0	0	0	0			
	その他								
	小	計	0	0	0	0			
計		0	0	0	0				
短期借入金	公的金融機関								
	小	計	0	0	0	0			
	小	計	0	0	0	0			
	その他								
	小	計	0	0	0	0			
	返済期限が一年以内の長期借入金		0	0	0	0			
	計		0	0	0	0			
合		計	0	0	0	0			

基本金明細書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

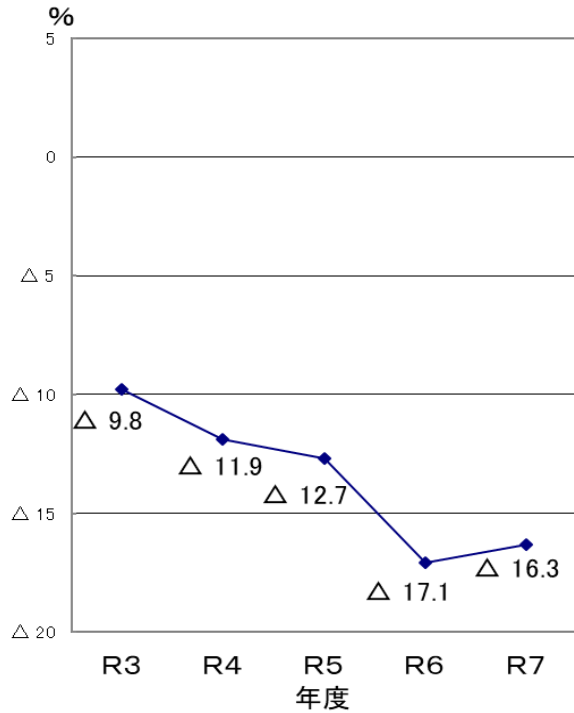
(単位 円)

事 項	要組入高	組入高	未組入高	摘 要
第1号基本金				
前期繰越高 (法人部門)	16,735,132,369	16,735,132,369	0	
当期組入対象額				
1. 管理用機器備品	8,886,261	8,886,261		
計	8,886,261	8,886,261		
当期取崩対象額				
1. 車輛	△ 1,944,000	△ 1,944,000		
2. 電話加入権	△ 1,122,544	△ 1,122,544		
計	△ 3,066,544	△ 3,066,544		
当期組入額 (大学部門)	5,819,717	5,819,717	0	
当期組入対象額				
1. 教育研究用機器備品	3,330,965	3,330,965		
2. 管理用機器備品	2,301,189	2,301,189		
3. 図書	3,710,623	3,710,623		
計	9,342,777	9,342,777		
当期取崩対象額				
1. 教育研究用機器備品	△ 6,477,138	△ 6,477,138		
2. 図書	△ 1,196,351	△ 1,196,351		
3. 電話加入権	△ 484,072	△ 484,072		
計	△ 8,157,561	△ 8,157,561		
当期組入額 (短大(食)部門)	1,185,216	1,185,216	0	
当期組入対象額				
1. 教育研究用機器備品	1,173,549	1,173,549		
2. 管理用機器備品	157,826	157,826		
3. 図書	46,784	46,784		
計	1,378,159	1,378,159		
当期取崩対象額				
1. 構築物	△ 2,363,150	△ 2,363,150		
2. 教育研究用機器備品	△ 3,280,181	△ 3,280,181		
3. 図書	△ 55,077	△ 55,077		
4. 電話加入権	△ 361,479	△ 361,479		
計	△ 6,059,887	△ 6,059,887		
当期取崩額 (短大(保)部門)	△ 4,681,728	△ 4,681,728	0	
当期組入対象額				
1. 教育研究用機器備品	1,173,547	1,173,547		
2. 管理用機器備品	157,825	157,825		
3. 図書	112,534	112,534		
計	1,443,906	1,443,906		
当期取崩対象額				
1. 構築物	△ 2,363,150	△ 2,363,150		
2. 教育研究用機器備品	△ 1,607,801	△ 1,607,801		
計	△ 3,970,951	△ 3,970,951		
当期取崩額 (看護専門学校部門)	△ 2,527,045	△ 2,527,045	0	
当期組入対象額				
1. 建物付属設備	178,200	178,200		
2. 教育研究用機器備品	1,003,674	1,003,674		
3. 管理用機器備品	41,643	41,643		
4. 図書	203,376	203,376		
計	1,426,893	1,426,893		
当期取崩対象額				
1. 教育研究用機器備品	△ 1,145,664	△ 1,145,664		
2. 電話加入権	△ 25,000	△ 25,000		
計	△ 1,170,664	△ 1,170,664		
当期組入額 (歯科衛生士専門学校部門)	256,229	256,229	0	
当期組入対象額				
1. 建物付属設備	151,800	151,800		
2. 教育研究用機器備品	506,585	506,585		
3. 管理用機器備品	23,796	23,796		
4. 図書	135,907	135,907		
計	818,088	818,088		
当期取崩対象額				
1. 教育研究用機器備品	△ 859,680	△ 859,680		
2. 電話加入権	△ 25,000	△ 25,000		
計	△ 884,680	△ 884,680		
当期取崩額 (有斗高等学校部門)	△ 66,592	△ 66,592	0	
当期組入対象額				
1. 建物付属設備	3,069,000	3,069,000		
2. 教育研究用機器備品	2,096,050	2,096,050		
3. 管理用機器備品	350,768	350,768		
4. 図書	592,898	592,898		
計	6,108,716	6,108,716		

当期取崩対象額				
1. 教育研究用機器備品	△ 138,240	△ 138,240		
2. 図書	△ 164,737	△ 164,737		
3. 電話加入権	△ 229,984	△ 229,984		
計	△ 532,961	△ 532,961		
当期組入額 (柏稜高等学校部門)	5,575,755	5,575,755	0	
当期組入対象額				
1. 建物付属設備	300,300	300,300		
2. 教育研究用機器備品	3,528,250	3,528,250		
3. 管理用機器備品	327,800	327,800		
4. 図書	320,898	320,898		
計	4,477,248	4,477,248		
当期取崩対象額				
1. 教育研究用機器備品	△ 4,269,899	△ 4,269,899		
2. 電話加入権	△ 74,984	△ 74,984		
計	△ 4,344,883	△ 4,344,883		
当期組入額 (幼稚園部門)	132,365	132,365	0	
当期組入対象額				
1. 教育研究用機器備品	113,032	113,032		
2. 管理用機器備品	5,949	5,949		
3. 図書	173,230	173,230		
計	292,211	292,211		
当期取崩対象額				
1. 教育研究用機器備品	△ 539,500	△ 539,500		
2. 電話加入権	△ 74,984	△ 74,984		
計	△ 614,484	△ 614,484		
当期取崩額	△ 322,273	△ 322,273	0	
当期組入額	5,371,644	5,371,644	0	
当期末残高	16,740,504,013	16,740,504,013	0	
第3号基本金				
前期繰越高	—	213,827,565	—	
当期末残高	—	213,827,565	—	
第4号基本金				
前期繰越高	162,000,000	162,000,000	0	
当期末残高	162,000,000	162,000,000	0	
合 計				
前期繰越高	—	17,110,959,934	0	
当期組入額	—	5,371,644	0	
当期取崩額	—	—		
当期末残高	—	17,116,331,578	0	

2) 財務比率過年度推移

① 経常収支差額比率

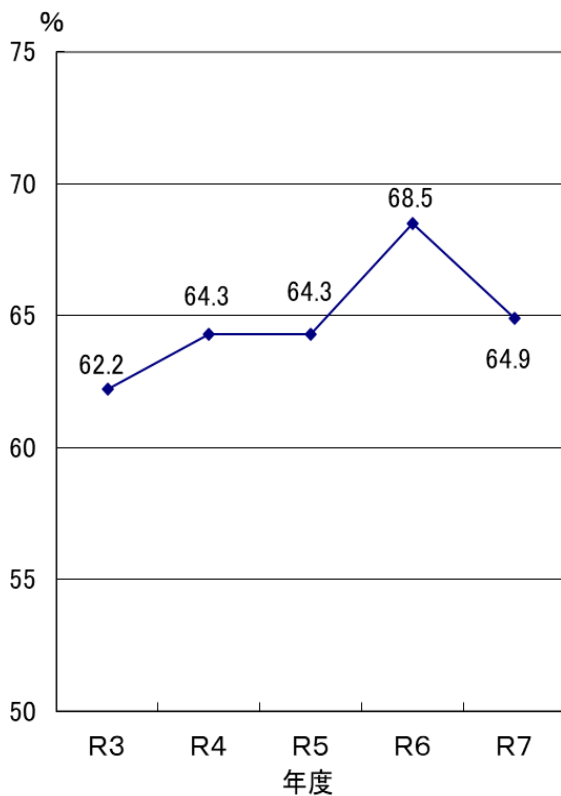


計算式 (経常収入-経常支出) / 経常収入

経常収入から経常支出を差し引いた経常収支差額の経常収入に対する割合である。

この比率は臨時的な収入を考慮しない、通常の事業活動による収支バランスを示す比率のため、支出超過の場合は、財政が逼迫していることを表している。経営の健全性を表す代表的な指標であり、この比率が高いほど、経営に余裕があると考えられる。

② 人件費比率

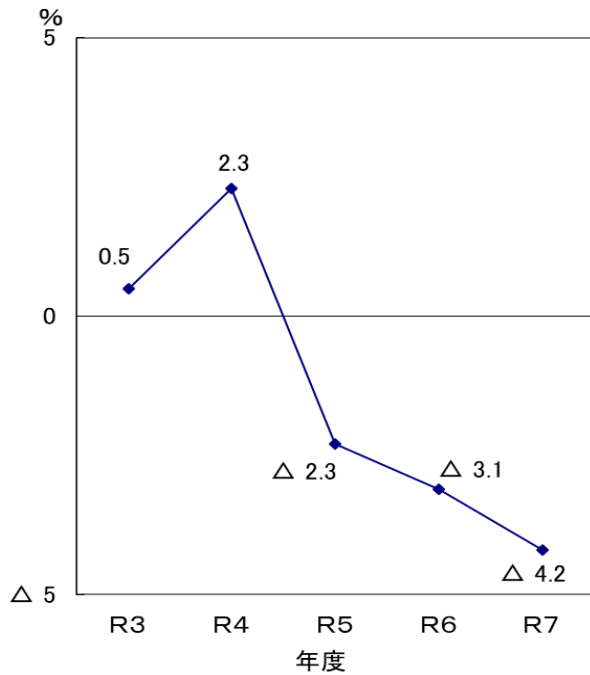


計算式 人件費 / 経常収入

人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率である。

人件費は経常支出のなかで最大の部分を占めているため、この比率が特に高くなると、経常支出全体を大きく膨張させ経常収支の悪化を招きやすい。

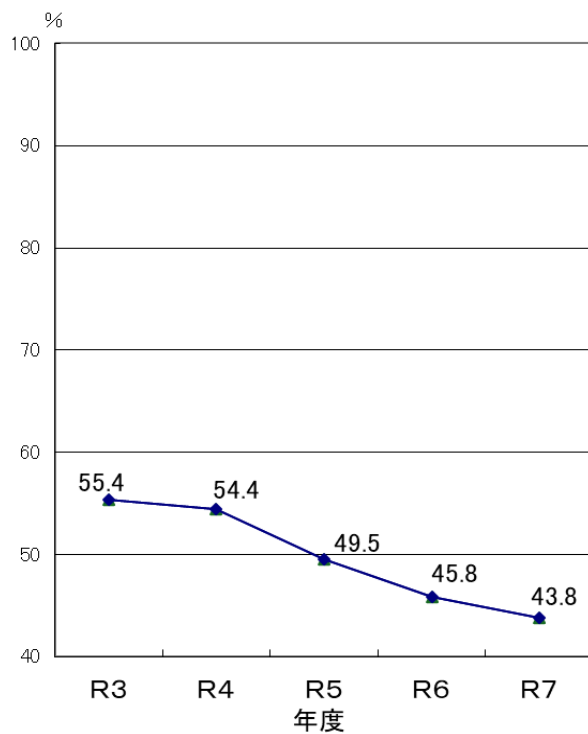
③教育活動資金収支差額比率



計算式 (教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋調整勘定等) ÷ 教育活動資金収入

教育活動資金収支差額の教育活動収入に占める割合を示し、学校法人における本業である「教育活動」でキャッシュフローが生み出せているかを測る比率である。

④積立率

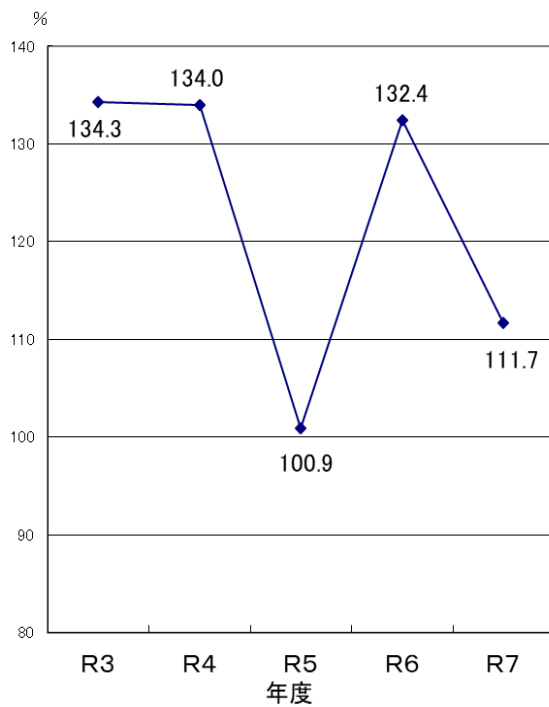


計算式 運用資産 ÷ 要積立額

学校法人の経営を持続的かつ安定的に継続するために必要となる運用資産の保有状況を表す比率である。

一般的には比率が高い方が望ましい。

⑤流動比率



計算式 流動資産／流動負債

流動負債に対する流動資産の割合である。
 学校法人の資金流動性すなわち短期的な支払い能力を判断する重要な指標の一つである。
 一般的には200%以上であれば優良、100%を切っている場合には資金繰りに窮していると判断される。
 ただし、学校法人の場合には流動負債における前受金の比重が大きいことや、流動資産のほとんどが現金預金であり、将来に備えて引当特定資産（預金）等に資金を留保している場合等もあるため、必ずしもこの比率が低くなると窮しているとは限らないという点に留意が必要である。

(2)財産目録

財 産 目 録

令和8年3月31日現在		
1. 資産額		
(1) 基本財産		
①土地		
校地等	291,216.24 m ²	2,124,104,087 円
②建物		
校舎等	67,388.68 m ²	5,138,823,595 円
建設仮勘定		1,650,000 円
③構築物		49,731,368 円
④図書	295,960 冊	1,041,315,217 円
⑤教具・校具・備品	4,064 点	157,377,133 円
⑥積立金（第3号基本金引当特定資産）		213,827,565 円
⑦その他		6,211,673 円
(2) 運用財産		
①預金		338,036,325 円
②積立金		3,299,308,917 円
③未収入金		53,695,273 円
④その他		32,800,708 円
(3) 収益事業用財産		
①固定資産		
土地等		849,348,347 円
②流動資産		
預金等		520,422,768 円
合計		13,826,652,976 円
2. 負債額		
(1) 固定負債		
退職給与引当金		365,643,021 円
(2) 流動負債		
①前受金		92,507,226 円
②預り金		136,187,028 円
③未払金		80,549,387 円
④賞与引当金		57,597,000 円
(3) 収益事業負債		
未払金等		122,596,872 円
合計		855,080,534 円
正味財産		12,971,572,442 円

(3)財務状況と経年比較

①貸借対照表関係

ア)貸借対照表の状況と経年比較

(単位 円)

科 目	R3	R4	R5	R6	R7
固定資産	14,172,181,149	13,852,575,351	13,800,589,544	13,342,806,565	13,024,900,806
流動資産	595,980,176	707,605,242	462,728,188	500,608,395	409,612,286
資産の部合計	14,768,161,325	14,560,180,593	14,263,317,732	13,843,414,960	13,434,513,092
固定負債	395,039,653	391,075,735	378,807,672	384,630,682	365,643,021
流動負債	443,784,182	528,189,445	458,419,461	378,168,940	366,840,641
負債の部合計	838,823,835	919,265,180	837,227,133	762,799,622	732,483,662
基本金	16,799,946,459	16,745,451,605	16,999,635,445	17,110,959,934	17,116,331,578
繰越収支差額	△ 2,870,608,969	△ 3,104,536,192	△ 3,573,544,846	△ 4,030,344,596	△ 4,414,302,148
純資産の部合計	13,929,337,490	13,640,915,413	13,426,090,599	13,080,615,338	12,702,029,430
負債及び純資産の部合計	14,768,161,325	14,560,180,593	14,263,317,732	13,843,414,960	13,434,513,092

イ)財務比率の経年比較

	R3	R4	R5	R6	R7
運用資産余裕比率	1. 7年	1. 6年	1. 7年	1. 6年	1. 7年
流動比率	134. 3%	134. 0%	100. 9%	132. 4%	111. 7%
総負債比率	5. 7%	6. 3%	5. 9%	5. 5%	5. 5%
前受金保有比率	254. 5%	300. 8%	183. 4%	318. 0%	365. 4%
基本金比率	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%
積立率	55. 4%	54. 4%	49. 5%	45. 8%	43. 8%

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 円)

収入の部合計					
科 目	R3	R4	R5	R6	R7
学生生徒等納付金収入	1,150,946,374	1,104,084,478	1,039,467,876	940,461,799	889,619,988
手数料収入	22,783,200	20,781,500	19,274,100	17,743,610	16,781,325
寄付金収入	2,740,000	11,794,000	1,662,000	3,218,864	6,602,003
補助金収入	858,901,648	855,659,645	900,935,875	851,184,504	842,566,327
資産売却収入	768,002,092	14,132,000	0	0	200,000
付随事業・収益事業収入	111,405,598	89,474,328	89,964,569	85,533,042	104,608,004
受取利息・配当金収入	30,749,356	29,106,044	29,090,075	29,119,663	29,076,724
雑収入	77,422,998	136,294,354	89,397,940	85,090,596	40,424,149
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	186,199,701	178,190,576	160,013,126	120,727,076	92,507,226
その他の収入	417,485,389	196,654,355	162,052,562	391,961,975	99,991,989
資金収入調整勘定	△ 279,327,017	△ 335,818,315	△ 323,968,408	△ 253,949,420	△ 170,782,049
前年度繰越支払資金	464,691,189	474,518,267	536,045,798	293,411,925	383,909,602
収入の部合計	3,812,000,528	2,774,871,232	2,703,935,513	2,564,503,634	2,335,505,288

支出の部合計					
科 目	R3	R4	R5	R6	R7
人件費支出	1,404,958,476	1,448,249,376	1,373,062,599	1,370,105,942	1,264,802,515
教育研究経費支出	588,780,740	582,382,311	556,631,260	513,430,078	535,567,691
管理経費支出	144,876,429	153,452,698	140,547,894	129,272,614	121,186,541
借入金等利息支出	34,088	0	0	0	0
借入金等返済支出	6,130,491	0	0	0	0
施設関係支出	31,803,045	36,261,442	260,044,014	95,436,177	3,699,300
設備関係支出	31,491,955	20,544,805	20,761,332	28,327,834	30,474,959
資産運用支出	849,026,792	79,710,137	6,030,396	0	0
その他の支出	356,289,721	76,759,831	172,554,827	147,010,183	128,162,557
資金支出調整勘定	△ 75,909,476	△ 158,535,166	△ 119,108,734	△ 102,988,796	△ 86,424,600
翌年度繰越支払資金	474,518,267	536,045,798	293,411,925	383,909,602	338,036,325
支出の部合計	3,812,000,528	2,774,871,232	2,703,935,513	2,564,503,634	2,335,505,288

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 円)

科 目		R3	R4	R5	R6	R7
教育活動による資金収支						
教育活動資金収入計		2,198,908,853	2,210,678,269	2,074,035,985	1,962,414,848	1,841,343,637
教育活動資金支出計		2,138,370,123	2,183,483,156	2,070,241,753	2,012,796,318	1,921,545,457
差引		60,538,730	27,195,113	3,794,232	△ 50,381,470	△ 80,201,820
調整勘定等		△ 49,664,321	23,433,615	△ 50,845,725	△ 9,704,172	2,116,663
教育活動資金収支差額		10,874,409	50,628,728	△ 47,051,493	△ 60,085,642	△ 78,085,157
施設整備等活動による資金収支						
施設整備等活動資金収入計		105,483,441	14,572,000	54,293,000	241,857,604	3,788,604
施設整備等活動資金支出計		912,321,792	134,713,643	286,835,742	123,764,011	34,174,259
差引		△ 806,838,351	△ 120,141,643	△ 232,542,742	118,093,593	△ 30,385,655
調整勘定等		0	0	0	0	0
施設整備等活動資金収支差額		△ 806,838,351	△ 120,141,643	△ 232,542,742	118,093,593	△ 30,385,655
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)		△ 795,963,942	△ 69,512,915	△ 279,594,235	58,007,951	△ 108,470,812
その他の活動による資金収支						
その他の活動資金収入計		1,005,121,198	135,293,210	55,631,398	56,163,269	92,403,178
その他の活動資金支出計		185,997,851	6,903,970	16,904,358	27,235,618	29,545,880
差引		819,123,347	128,389,240	38,727,040	28,927,651	62,857,298
調整勘定等		△ 13,332,327	2,651,206	△ 1,766,678	3,562,075	△ 259,763
その他の活動資金収支差額		805,791,020	131,040,446	36,960,362	32,489,726	62,597,535
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)		9,827,078	61,527,531	△ 242,633,873	90,497,677	△ 45,873,277
前年度繰越支払資金		464,691,189	474,518,267	536,045,798	293,411,925	383,909,602
翌年度繰越支払資金		474,518,267	536,045,798	293,411,925	383,909,602	338,036,325

ウ)財務比率の経年比較

	R3	R4	R5	R6	R7
教育活動資金収支差額比率	0. 5%	2. 3%	△2. 3%	△2. 9%	△4. 2%

(単位 円)

イ) 財務比率の経年比較

	R3	R4	R5	R6	R7
人件費比率	62.2%	64.3%	64.3%	68.5%	64.9%
教育研究経費比率	37.2%	36.9%	37.6%	38.0%	40.5%
管理経費比率	10.4%	10.7%	10.8%	10.6%	10.8%
事業活動収支差額比率	△6.7%	△12.8%	△9.9%	△17.1%	△19.4%
学生生徒納付金比率	51.0%	49.2%	49.1%	51.7%	45.7%
経常収支差額比率	△9.8%	△11.9%	△12.7%	△17.1%	△16.3%

(4)その他

1) 有価証券の状況

(ア) 総括表

(単位 円)				
		当年度 (令和8年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	減価償却引当特定資産他	0	0	0
(うち満期保有目的の債券)		0	0	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	減価償却引当特定資産他	2,605,218,371	2,128,007,100	△ 477,211,271
(うち満期保有目的の債券)		(2,605,218,371)	(2,128,007,100)	(△477,211,271)
合 計	減価償却引当特定資産他	2,605,218,371	2,128,007,100	△ 477,211,271
(うち満期保有目的の債券)		(2,605,218,371)	(2,128,007,100)	(△477,211,271)

(イ) 明細表

種 類	当年度 (令和8年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債 券	2,605,218,371	2,128,007,100	△ 477,211,271

2) 借入金の状況
該当なし

3) 学校債の状況
該当なし

4) 寄付金の状況

①一般寄付金

(単位 円)								
法 人	函館大学	函 館 短期大学	函館看護 専門学校	函館歯科衛生士 専門学校	函大付属 有斗高校	函大付属 柏稜高校	函短付属 幼稚園	計
					44,000			44,000

②特別寄付金

(単位 円)									
区 分	法人	函館大学	函 館 短期大学	函館看護 専門学校	函館歯科衛生士 専門学校	函大付属 有斗高校	函大付属 柏稜高校	函短付属 幼稚園	計
教育活動支援	918,888	822,920	247,000	42,000	224,000	702,000	96,000	60,000	3,112,808
社会貢献活動助成			70,000						70,000
啓発活動推進事業			60,000						60,000
学校緑化活動サ ポート事業								15,195	15,195
施設設備支援						3,100,000	300,000		3,400,000
計	918,888	822,920	377,000	42,000	224,000	3,802,000	396,000	75,195	6,658,003

5) 補助金の状況

(単位 千円)									
区 分	法 人	函館大学	函 館 短期大学	函館看護 専門学校	函館歯科衛生士 専門学校	函大付属 有斗高校	函大付属 柏稜高校	函短付属 幼稚園	計
私立大学等経 常費補助金		118,672	81,809						200,481
授業料等減免事 業		49,179	38,948						88,127
私立高等学校授業 料軽減						3,890	4,734		8,624
私立高等学校管 理運営事業						161,989	148,157		310,146
同上 (過疎)						31,024	11,753		42,777
同上 (小規模)						12,000	12,000		24,000
私立高等学校就学 支援金事務費						340	346		686
私立専修学校管 理運営事業					3,531				3,531
私立専修学校修 学支援事業				19,448	14,391				33,839

私立幼稚園管理運営事業								658	658
医療人材確保事業				943					943
看護職員養成施設運営支援				18,129					18,129
高校生等臨時支援金事務費						46	23		69
函館市社会教育関係派遣							20		20
結核予防費		22							22
図書館図書整備費		1,800							1,800
私立学校運営助成費		12,474	6,661			13,490	13,218		45,843
私立専修学校運営助成費				4,108	3,651				7,759
函館市一時預かり事業								1,467	1,467
施設型給付費								53,272	53,272
道私立専修学校次世代職業体験				99	274				373
計	0	182,147	127,418	42,727	21,847	222,779	190,251	55,397	842,566

6) 収益事業の状況

(単位千円)

	自動車学校	不動産賃貸	児童館
売上高	492,804	10,255	52,505
売上原価	2,652	0	0
売上総利益	490,152	10,255	52,505
販売費及び一般管理費	407,284	10,211	44,974
営業利益	82,868	44	7,531
営業外収益	1,317	36	610
経常利益	84,186	80	8,142
特別利益	771	0	0
学校会計繰入前税引前当期純利益	84,957	80	8,142
学校会計繰入額	55,000	0	0
税引前当期利益	29,957	80	8,142
法人税・住民税及び事業税	12,715	0	0
当期利益	17,242	80	8,142

7) 関連当事者等との取引の状況
該当なし

8) 出資会社との取引の状況
該当なし

9) 学校法人間財務取引
該当なし

（５）経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

経営指標のなかで、最も重要なものは経常収支差額比率である。

本年度は16.3%のマイナスとなった。この比率が十分でない大きな原因は経常収入の減少、中でも少子化による学生生徒等納付金の減少であり、一方で経常支出における人件費、教育研究経費および管理経費の削減努力をしているにもかかわらず、減収額が削減額を上回っていることにある。今後、様々な工夫を重ね、教育サービスの充実をはかりながらも経常収支差額の増加を図り、財務体質の改善に努める必要がある。学齢人口の一層の減少期を迎えた現在、私立学校を取り巻く環境がますます厳しさを増している中で、経費の節減は勿論の事であるが、最も大切なのは如何にして教育・研究の成果が学生・生徒等とその保護者を含む社会から評価され、厚い信頼を得るかである。適正な学生生徒数と収入の確保は、その帰結である。

そのためには、大学を頂点として本学園の各校それぞれが顧客ニーズおよび満足度を踏まえ、最善の努力をし、互いに協力し合って共存共栄の道をあゆんでいくことができるよう本法人として中・長期的視点にたった経営や財政の運営に向けて今後も一層努力する必要がある。